

のどの痛み、せき
発熱

10caps

第②類医薬品

カゼキリカプセル

第②類医薬品

かぜに

カゼキリカプセル

製造販売元 丸太中嶋製薬株式会社 奈良県御所市今住170
お問い合わせ先 0745-67-0006

かぜののどの痛み、せき、発熱

かぜののどの痛み、せき、発熱

かぜにカゼキリカプセル

第②類医薬品

効能又は効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和。

用法及び用量

15歳以上……1回 2カプセル 7歳以上15歳未満……1回 1カプセル
1日3回食後なるべく30分以内に服用する

成分及び分量 1日量(6カプセル)中

アセトアミノフェン……600mg テキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物…48mg
エテンザミド……500mg dl-メチルエフェドリン塩酸塩…50mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩…7.5mg 無水カフェイン……100mg
添加物としてゼラチン、バレイショデンプン、カプセル本体に青色1号、赤色3号、黄色4号、黄色5号、酸化チタン、ラウリル硫酸ナトリウム、マクロゴールを含有する。



(使用上の注意)

1. 次の人は服用しないこと。
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。
3. 服用が適さない場合があるので、服用前に医師・薬剤師又は登録販売者に相談すること。
4. 服用に際しては、説明文書をよく読むこと。
5. 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

10カプセル ¥800+税 配置期限



カゼキリカプセル 使用上の注意  してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等

(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

3. 服用後、乗り物又は機械類の運転操作をしないこと

(眠気等があらわれることがある)

4. 服用前後は飲酒しないこと

5. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3) 授乳中の人。

(4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある小児(15歳未満)。

(5) 高齢者。

(6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(7) 次の症状のある人。高熱、排尿困難

(8) 次の診断を受けた人。心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、甲状腺機能障害、糖尿病、高血圧

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振	泌尿器	排尿困難
呼吸器	息切れ、息苦しさ	その他	過度の体温低下

裏面につづく

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューとなる、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

口のかわき、眠気

4. 5~6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

用法及び用量について

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かないところに保管すること。

お問い合わせ先 丸太中嶋製薬株式会社
奈良県御所市今住170 TEL0745(67)0006